

図書だより

春日部市立東中学校
第7号
H31.2.18



今回の図書だよりは、「国語科 村山先生の本の選び方」紹介です。「村山先生推薦図書」のコーナーが図書室に設置され、多くの方が本を手にする様子が見られました。紹介文を読んで、自分の本選びに役立ててください。紹介された本は、図書室にあります。

本の選び方はいろいろあると思いますが、一冊の本から世界を広げていくというの、一つの方法ではないかと思います。今回はそのような本の選び方／読み方を紹介します。

① 「世界のなかで自分の役割を見つけること——最高のアートを描くための仕事の流儀」

小松美羽

著者の小松美羽さんは、現代アートを担う若手の一人として注目されている方です。文章からは、彼女の現代アートという世界で生きていこうとする覚悟が伝わってきます。

今回はこの本を中心として、世界を広げていきましょう。



② 「自分の感受性くらい」 茨木のり子

小松さんの心の支えとなった詩として著書の中で紹介されているのが、茨木のり子さんの詩「自分の感受性くらい」です。ぜひ茨木のり子さんのことばをじっくり味わってみてください。

③ 「楽園のカンヴァス」 原田 マハ

小説も紹介します。「楽園のカンヴァス」は、一枚の絵を巡って日本・アメリカ・フランスを舞台に繰り広げられるミステリーです。読みやすく、ストーリーの構成がよく練られていて、拔群におもしろいです。また、画家アンリ・ルソーやパブロ・ピカソ、あるいはキュレーター（博物館・美術館などの、展覧会の企画・構成・運営などをつかさどる専門職）などについて詳しくなれます。

④ 「現代アートとは何か」 小崎哲哉

小松さんが生きていこうとしている現代アートとはどのような世界なのか。やや難しい内容

ですが、この本を読むと、その輪郭がわかってきます。アートを含めたこの世界の複雑さの一端を知ることができます。

⑤ 「直島誕生——過疎化する島で目撃した「現代アートの挑戦」全記録」 秋元 雄史

日本には「現代アートの聖地」と呼ばれているような場所があります。瀬戸内海に浮かぶ、人口3000人ほどの小さな島・直島です。どのような過程を経て、現在の活況に至ったのか知ることができます。

いかがでしょうか。あなたも、一冊の本から世界を広げてみませんか。

他にもこのような選び方／読み方があります。

- ・本の分野で選ぶ 小説／ノンフィクション／SF／ホラー など
- ・社会の分野で選ぶ 文学／科学／社会／心理 など
- ・文庫の分野で選ぶ 角川ホラー文庫／創元 SF 文庫／ブルーバックス（科学）など

図書委員クイズコーナー Part 2



第1問 黒いしっぽが特徴のヤマネコは世界中のどの地域で生息しているのでしょうか。

第2問 「人から助けを受けずに、1人で必死に戦う。1人で難しい物事に向かい努力する。」この意味にあてはまる四字熟語はどれか。①孤軍奮闘②戦戦恐恐③国士無双

第3問 電灯・蓄音機・映画・蓄電池・タイプライターを発明し、誰でも一度は聞いたことがある「天才は1%のひらめきと99%の努力である」有名な人はエジソン。そのエジソンが亡くなった年齢は、何歳でしょう。①62歳(1909年)②84歳(1931年)③93歳(1983年)

第4問 「夕焼小焼」を作曲した人は誰でしょう。

第5問 トランペットの管の長さは約何cmでしょう。

解答用紙は図書室
にあります！

(1年生の図書委員が作成しました。)